

大学と地域、区との連携事例の情報発信について

1 主旨

大学との連携には、地域での子ども支援や地域経済の活性化、防災、区民の健康づくり、まちづくりといった様々な事例がある。こうした連携事例を公表することで、地域課題解決に向けたヒントや新たな視点からの連携の取り組みとなる可能性が期待できる。

また、大学の社会貢献、新たなフィールドワークの場の広がりへの取り組みとして、各大学の特徴や地域、区との連携事例を掲載した大学連携 News を発行する。

2 大学と区との連携協力に関する実績一覧の公表（別紙1）

（1）内容

119の連携事例の概要や連携実績（平成30年度～令和2年度）を掲載。

（2）発信媒体

世田谷区HP（大学ごとの実績一覧をPDFで掲載）



世田谷区HP トップページ下部にある左記のアイコンから大学連携のページへ飛ぶことができる。

（3）今後のスケジュール

令和3年9月30日 大学と区との連携協力に関する実績一覧公表

（4）その他

毎年6月ごろ実績一覧更新

3 大学連携 News の発行（別紙2）

（1）大学連携 News の概要

仕 様：電子媒体（PDF）

内 容：大学・学部の紹介、PR、大学と地域との連携事例・エピソード 等

発 信 媒 体：世田谷区HP、各大学HP 等

【各号掲載大学】

令和3年度			令和4年度
9月号	12月号	3月号	6月号
日本大学 文理学部	日本女子体育大学	駒澤大学	東京医療保健大学
多摩美術大学	日本体育大学	明治大学	東京農業大学
日本大学 危機管理学部・スポーツ 科学部	産業能率大学	成城大学	テンプル大学 ジャパンキャンパス
	東京都市大学	日本大学 商学部	
	昭和女子大学	国士舘大学	

【人的交流の促進に関すること】			
No	事業名	事業概要	連携実績
1	子ども大会（青少年上町地区委員会主催）	国土館大学細越ゼミの学生が子どもの運動をテーマにブース出展。また学生ボランティアを募り、当日従事。	【平成30年度】 年間1回約20名の学生が参加 【令和元年度】 事前打ち合わせを計2回行い、令和元年8月21日(水)に、馬事公苑前けやき広場にて開催 24名の学生が参加(受付、コーナー運営など)
2	上町トライアングル（青少年上町地区委員会主催）	国土館大学細越ゼミの学生がミニサスケという身体を動かすブース出展。	【平成30年度】 年間1回7名の学生が参加
3	メンタルフレンド派遣事業	学校への不適応を示し、家に閉じこもりがちな児童・生徒の家庭に兄や姉のように接するボランティアを派遣し、自主性の伸長や社会性の発達を促す。	【平成30年度・令和元年度】 国土館大学の登録学生を派遣
4	みどりと花いっぱい協定	協定を締結した大学の学生が国土館坂沿いのプランターの植付けや水やり、草取りなどの日常管理を実施。	【令和元年度・令和2年度】 国土館坂沿いのプランターの日常管理を学生が実施
5	せたがや国際交流ラウンジ	区内在住留学生をファシリテーターに迎え、各テーマに対する母国と日本との比較をプレゼンテーションするとともに、参加者との意見交換を通じた交流を図る。	【令和元年度】 年4回開催 ファシリテーターとして5名の留学生在が参加（延べ人数）

【知的・物的資源の相互活用に関すること】			
No	事業名	事業概要	連携実績
1	せたがやふるさと区民まつり	せたがやふるさと区民まつりの区役所周辺での開催に伴い、国土館大学の敷地（正門前付近・メイプルセンチュリーホール前）の使用及び後援	【平成30年度・令和元年度】 国土館大学敷地（正門付近・メイプルセンチュリーホール前）の使用及び後援名義の使用
2	災害時における協力体制に関する協定書	災害が発生した場合に、避難所として大学施設の利用や学生・教職員ボランティア派遣等、区民、在学在勤者等の安全確保、生活復興等の応急対策を迅速に推進するための協定を締結している。	本協定が定める、地震等の大規模災害が発生しなかったため、実績なし。
3	ボランティアマッチングセンター等に関する協定書	災害が発生した際に、ボランティアマッチングセンター等を大学施設に設置する協定を締結している。	【令和元年度】 令和元年9月14日に、国土館大学34号館B-303教室、サンクンガーデンにて講義と模擬訓練実施 4名の学生参加
4	夏季教科等研修	区立小中学校教員の研修会場の提供	【平成30年度】 平成30年8月20日から8月24日まで教員研修実施 武道のみ国土館大学を使用 【令和元年度】 令和元年8月19日から8月27日まで教員研修実施 武道のみ国土館大学を使用

5	大学等教育機関との連携	基本協定に基づき「区内大学と世田谷区教育委員会との教育活動等支援事業に関する覚書」を締結し、区立幼稚園、区立小・中学校の教育活動等支援のための学生派遣事業を平成17年9月より開始。派遣対象となる教育活動 学級運営の支援、 学校行事等への支援、 部活動における技術指導、 配慮を要する児童・生徒への支援	【平成30年度・令和元年度・令和2年度】 学級運営の支援、学校行事等への支援、配慮を要する児童・生徒への支援、部活動における技術指導へ学生が参加。
6	世田谷リカレント学習連携事業	各大学で実施される公開講座の情報を冊子に取りまとめ、区民へ配布し周知する。また、各大学で実施される公開講座のうち、4講座程度をリカレント学習連携講座として指定し、区報で周知する。そのほか、各大学で実施される公開講座・講演会等の開催案内のチラシ・ポスター・パンフレット等を区内施設に配布。 (令和2年度より) 各大学で希望する公開講座情報を年1回、区報で周知する。ホームページには随時掲載。そのほか、各大学で実施される公開講座・講演会等の開催案内のチラシ・ポスター・パンフレット等を区内施設に配布。	【令和元年度】 公開講座情報誌を春期、秋期ともに1,100部発行 令和2年3月No.44をもって終了 区のおしらせ4月1日号、9月15日号にリカレント学習連携講座の情報を掲載。 【令和2年度】 ホームページをリニューアル 区ホームページに大学が実施する公開講座情報の掲載開始(大学から情報提供があり次第随時更新)。
7	せたがやeカレッジ	区内6大学と世田谷区教育委員会で連携し、インターネットを活用したeラーニングサイトを運用。参加大学の特色あるコンテンツを作成し、区民等に学習の機会を提供する。また、公開講座を実施し、せたがやeカレッジを広く周知するとともに、学習の機会を広げる。	【平成30年度】 9月18日に公開講座「酒造りにみる先人の知恵と技」を開催 約300名が来場 会場：国土館大学多目的ホール 10月1日よりウェブサイトを更新し、講座を公開中。 リニューアルに併せてチラシを2100部作成し、大学・教育委員会で配布。 せたがやeカレッジHP公開講座 【平成30年度】 平成30年9月14日「中国の知識人と近代日本」 その他2講座 計12講座公開 平成30年9月21日「世界遺産 日本の現状とこれから」第1回～第4回 平成30年10月1日「災害情報が命を救う」第1回、第2回 【令和元年度】 令和元年11月8日「大久保利通と明治国家」 令和元年11月12日「西南戦争と党薩熊本隊～明治保守政党への胎動～」 【令和2年度】 令和2年9月4日「自助から始める防災」 令和3年1月15日「江戸時代初期の日中文化交流～『隠元』というカルチャーショック～」
8	大学図書館の区民利用	基本協定に基づき「区内大学と世田谷区教育委員会との大学図書館の世田谷区民の利用に関する覚書」を締結し、専門書等について、大学図書館の区民利用を進めている。	【平成30年度】 世田谷区民の利用実績あり。

【調査研究・事業の共同実施に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
1	世田谷ガリレオコンテスト	区立中学校において、豊かな発想と創造力に富んだ夢のある研究を広く募集し、コンテストによる発表を通して、より研究を深め、区立中学生の科学への興味や関心を高めるとともに、科学を学ぶ喜びや意欲を育てる。	【平成30年度】 平成31年1月26日(土)開催 会場として、国土館大学メイプルセンチュリーホールを借用 【令和元年度】 令和2年1月25日(土)開催 会場として、国土館大学メイプルセンチュリーホールを借用
2	三軒茶屋駅周辺のまちづくり	三軒茶屋駅周辺において、広域生活・文化拠点として、にぎわいと活気に満ちた魅力ある拠点づくりに取り組んでいる。区民、事業者など様々な主体が連携してまちづくりに取り組むため、(仮称)三茶のミライ(三軒茶屋駅周辺まちづくり基本計画)の策定に向けて検討を進めている。	【平成30年度】 三軒茶屋駅周辺まちづくり有識者検討委員会への出席(6回) 【令和元年度】 三軒茶屋駅周辺まちづくり検討委員会への出席(2回) 三軒茶屋駅周辺まちづくり会議への参加(2回) 三軒茶屋駅周辺まちづくりシンポジウムへの参加(1回) 【令和2年度】 三軒茶屋駅周辺まちづくり検討委員会への出席(3回) 三軒茶屋駅周辺まちづくり会議への参加(1回)

【その他、地域社会の持続的な発展に資する連携・協力】

No	事業名	事業概要	連携実績
1	世田谷で学び、世田谷で働こう！合同企業説明会	世田谷プラットフォームとの連携により合同企業説明会を実施し、学生に区内中小企業の魅力を発信することで就職先として検討する機会を提供する。	<p>【平成30年度・令和元年度】</p> <p>世田谷プラットフォームとの連携により合同企業説明会を実施し、学生に区内中小企業の魅力を発信することで就職先として検討する機会を提供。</p> <p>平成30年度 参加者33名、参加企業12社 令和元年度 参加者7名、参加企業13社</p>

世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。

ここでは多摩美術大学の紹介と地域と協力した取組みをご紹介します！



多摩美術大学×二子玉川ライズ 地域連携アートプロジェクト タマリバーズvol.10

会場：二子玉川ライズ ガレリア

日時：2021年10月 9日(土)11:00、12:30、14:00、15:30

2021年10月10日(日)11:00、12:30、14:00、15:30

多摩美術大学×二子玉川ライズ 地域連携アートプロジェクト タマリバーズVol.10を、二子玉川ライズ・ガレリアを拠点とし10月9日、10日の二日間開催します。2011年より歴史を刻んできたタマリバーズ。2016年からはPBL 科目として展開してきました。2020年度はコロナ禍により、残念ながら開催できませんでした。それにより、2021年度は、二子玉川ライズ開業10周年とタマリバーズ10回目が重なることになりました。タマリバーズのメインイベントは、二子玉川ライズ・ガレリアを会場とした、<広場演劇>です。半屋外であり、風の通り道であるガレリアを“広場”“劇場”と見立てて展開します。

PBL: Project Based Learning (課題解決型学習) 学生自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習法。

多摩美術大学・芸術祭 (オンライン)

今年度の芸術祭は下記日程にてオンラインで開催予定です。どなたでもご参加いただけます。

開催日程：2021年10月29日(金)～31日(日)

詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.tamabi.ac.jp/campus/extracurricular/festival.htm>

今年のテーマは

TAMU
loading



多摩美術大学 上野毛キャンパス



多摩美術大学

絵画学科(日本画専攻/油画専攻/版画専攻)、彫刻学科、工芸学科、グラフィックデザイン学科、生産デザイン学科(プロダクトデザイン専攻/テキスタイルデザイン専攻)、環境デザイン学科、情報デザイン学科(メディア芸術コース/情報デザインコース)、芸術学科、統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科(演劇舞踊コース/劇場美術デザインコース)

上野毛キャンパス(本部・大学院・美術学部) 158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34 03-3702-1141(代)
八王子キャンパス(大学院・美術学部) 192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723 042-676-8611(代)

 Tama Art University

地域で学べる講座紹介

TCL

Tama Art University
Creative Leadership
Program

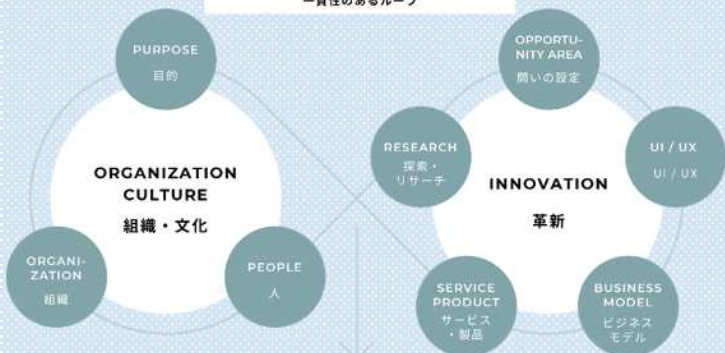
多摩美術大学 クリエイティブリーダーシップ プログラム

デザイン経営をビジネスに実装する講座

TCLの提供するプログラム

本質的なブランディング

組織・カルチャー & イノベーション
一貫性のあるループ



社会にどう実装し、
サステナブルにエンゲージメントしていくか。

TCLは多摩美術大学が「デザイン経営」を社会実装することを目的に、2020年9月に開講したビジネスパーソンのための講座です。本学の施設・設備を活用し、毎週土曜日(初回は土日の2日間)の午前10時から午後5時まで、全11回にわたり開催する履修証明プログラムで、大手企業やベンチャー、スタートアップ、官公庁や地方自治体など、さまざまなバックグラウンドをもつ方々が受講しています。

TCLの授業は本学上野毛キャンパスおよび東京・六本木にある東京ミッドタウン・デザインハブ内国際デザイン・リエゾンセンターで行います。コミュニケーションツールの「Slack」やホワイトボードアプリの「Miro」などのオンラインサービスも積極的に活用し、プログラム実施日以外でも受講生と教授・講師陣同士の活発なディスカッションや交流が行われます。受講生が3か月後に再度集まってそれぞれの取り組みを発表し検証する「フォローアッププログラム」も実施します。また、アルムナイ(校友)組織を設立し、履修後後も同期の枠を超えた交流を促進します。

第5期 (2021第3期)
2022年1月~3月
受講生募集中!
10月1日(金)AM10時締め切り

厚生労働大臣指定
一般教育訓練講座

詳しくはホームページで <https://tcl.tamabi.ac.jp/>

世田谷区教育委員会共催

連続講座「〇〇世紀の芸術家列伝II—18世紀」

【オンデマンド受講】

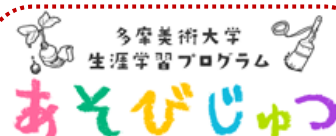
* 本講座は【会場受講】と【オンデマンド受講】の2種類から選べます
* 今回の募集は終了しています。

詳しくはホームページで <https://k.tamabi.ac.jp/life/lecture/2021sp/000536.htm>

- 第1回 「18世紀の美術・芸術への興味」
- 第2回 「伊藤若冲 京都市民の不安と欲望」
- 第3回 「沈南蘋」
- 第4回 「池大雅 万巻の書を読み、万里の路を行く」
- 第5回 「ジャン・シメオン・シャルダン 異端の画家シャルダンの芸術の近代性」
- 第6回 「白隠慧鶴 発話する書画」
- 第7回 「小田野直武 “ヨーロッパ”と出会った男」
- 第8回 「フランシスコ・デ・ゴヤ」
- 第9回 「尾形光琳 装飾芸術の輝き 闇の中の『光』」
- 第10回 「ウィリアム・キャズロン イギリス伝統ローマン体活字の完成」
- 第11回 「ジャン・フィリップ・ラモー フランス・バロック最後の巨匠」
- 第12回 「亜欧堂田善 アジアとヨーロッパにちなむ堂号をつけた男の作品」
- 第13回 「東洲斎写楽 日本人が好まなかった写楽の大首絵」
- 第14回 「ヨハン・ゼバスティアン・バッハ 構造と生成」
- 第15回 「ジャック・ルイ・ダヴィッド 新古典主義の美学」
- 第16回 「蔦屋重三郎 写楽・歌麿を生み出した名プロデューサー」
- 第17回 「与謝蕪村」
- 第18回 「マルキ・ド・サド 個の探求と普遍性」



多摩美術大学
生涯学習センター



2022年3月5日(土) 10時~15時
上野毛キャンパス
「自分を描こう、どう描こう」
対象: 1年~6年 定員: 25名

その他の講座情報はこちら <https://www.tamabi.ac.jp/life/>